



「ピンククリボン」マスク着用

橋本の病院 乳がん月間にあわせて

「乳がん月間」の10月にあわせ、橋本市の「医療法人南労会 紀和病院」は、乳がん検診などに関わる職員らが乳がん撲滅のシンボルマーク「ピンクリボン」をデザインしたマスクを着用している。写真。

病院では乳がん月間に毎年、講演会などのイベントを開いてきたが、全国的な



新型コロナウイルス感染拡大を受け、啓発のマスク着用を新たに企画した。

マスクは薄いピンク色。左側の円内にピンクリボン

などをデザインしている。

病院の「紀和ブレスト(乳腺)センター」の梅村定司センター長は「今年は新型コロナウイルスの影響で乳がん検診の受診者も減少している。マスクを見て『検診に行かない』と気付いても『えれば』と話している。

マスクは職員が日常的に着用するほか、啓発に協力してくれるサポーターにも配布する。問い合わせはセンター(0736・34・1255)。